

# 政令市の力を発揮し 今こそ少人数学級を

## 教育ことも委 長岡議員が要求



長岡ゆりこ議員

10日開かれた教育ことも委員会では長岡ゆりこ議員は、一人一人の子どもを大切にすることを進めるために、学校統廃合を進めるのではなく、今こそ少人数学級を実現することに、大阪市が政令市としての役割を発揮するように求めました。

長岡氏は、「子どもを

教室にぎゅうぎゅう詰めにするのではなく、ゆったりとした環境で一人一人の顔がしっかり見える教育には、少人数学級こそが有効だ」と強調。20ある政令市の中で大阪市だけが、国が定める1・2年生の少人数学級にとどまっていると述べました。

府では、これまで習熟度別指導に限られていた加配教員を、「35人を基準とした少人数学級編成」に充てるかどうかを市町村が選ぶことができ

る方針を示している指摘。大阪府は2019年度、習熟度別授業のために小学校で計281人、中学校で計365人の教員を加配しているが、「この先生たちに少人数学級の担任として活躍してもらおう時代だ」と迫りました。

豊中市や池田市が来年度に少人数学級の拡充を予定しており、「政令市としてさまざまな施策でイニシアチブをとってきた大阪府が、大きく出遅れている」と指摘。学校活性化条例で11クラス以下の小学校を統廃合するのではなく、少人数学級を進めてクラスを増やし、きめ細かな教育を行うことが必要だと主張しました。